

No.	受入可能部局名	研修要綱 研修場所	テーマ(※)	受入可能 人数	区分	専攻学科等	学年	その他	希望月日 (希望月)	希望期間 開始日	終了日	備考
J-1	航空技術部門 航空システム研究ユニット	調布	回転翼航空機の変換と解析	4	指定なし	指定なし	大学4年以上	外国人受入可	5日間	7月23日	8月31日	ヘリコプタなどの回転翼航空機の最新開発状況の調査と、ビルチローター型ドローンなどの飛行性能の計測と解析
J-2	航空技術部門 航空システム研究ユニット	調布	垂直短距離航空機の空力特性取得用着陸装置の開発	2	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	航空工学の基礎	7日間	7月9日	7月16日	垂直短距離航空機の着陸装置の開発に貢献し、実験技術と空力特性の取得方法を研修
J-3	航空技術部門 航空システム研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	4-6 (男女希望)	大学・大学院	機械系	大学4年以上	機械系の知識とプログラミングの知識が必要	5日間	11月5日	11月9日	大学での機械実験、プログラミング、実習、解析技術者がグループ内にいることが望ましい。最低人数4名、最高人数8名
J-4	有人宇宙技術部門 有人宇宙技術センター	筑波	有人宇宙探査に向けた生命維持技術に関する調査検討	4	指定なし	指定なし	指定なし	文系・理系は問わない	10日間	7月2日 以降	9月	火星や月面探査においてクルーの生命維持に必要な装置・システム、水再生・廃棄物処理の分野について、実地調査や実習を行う。地上での実地調査や実習を行う。
J-5	宇宙科学研究所 宇宙機工学研究系	相模原	衛星搭載電子デバイス/RFエレクトロニクスによる宇宙情報通信システムに関する研究	3~4	指定なし	電気電子工学とその関連学科	高専・大学4年以上	なし	10日間	7月2日	9月20日	衛星搭載電子デバイス/RFエレクトロニクスORでの設計・製作・評価・検証・システム構築などを行う。宇宙情報通信システム工学の基礎技術の習得
J-6	宇宙科学研究所 宇宙機工学研究系	相模原	天文データアーカイブへの効率的なアクセスに関する研究	2	指定なし	指定なし	大学4年以上	Unix/Linux、プログラミングの知識が必要	10日間	7月30日	8月10日	当機構が保有している天文データアーカイブの特性を調査し、データへのアクセスのためのアプリケーションの開発を行う。
J-7	宇宙科学研究所 宇宙機工学研究系	相模原	超伝導量子・量子線出力装置の研究	2	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	指定なし	10日間	7月2日	8月31日	超伝導を用いた量子・量子線出力装置の動作原理を学習し、実際のデバイス試作・動作評価の経験を得る。超伝導を用いた量子・量子線出力装置の動作原理を学ぶとともに半導体マイクロプロセッサや超伝導装置も経験する。
J-8	研究開発部門 第四研究ユニット	角田宇宙センター	ロケットエンジン/用トラ・ボロ・技術に関する研修	4	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	実地研修のため経験を有する人が好ましい	10日間	10月~11月頃を予定		ロケットエンジン/用トラ・ボロ・技術に関する研修を行う。超伝導を用いた量子・量子線出力装置の動作原理を学習し、実際のデバイス試作・動作評価の経験を得る。超伝導を用いた量子・量子線出力装置の動作原理を学ぶとともに半導体マイクロプロセッサや超伝導装置も経験する。
J-9	研究開発部門 第三研究ユニット	角田宇宙センター	東北の研究開発拠点としての広域・マナー・トレーニング	2	大学・大学院	人文・社会科学系	大学4年以上	経験豊富なマナー・トレーニングの知識があることが望ましい	10日間	9月頃を予定		地域・地域の活性化・地域と連携した効果的な角田宇宙センターの情報発信方法を立案する。
J-10	研究開発部門 第三研究ユニット	角田宇宙センター	広域・地域活性化のための産業・人材・技術に関する調査	2	指定なし	指定なし	指定なし	基礎的な産業・人材・技術に関する知識があることが望ましい	10日間	9月~10月頃を予定		角田宇宙センターの広域・地域活性化の調査・立案。角田宇宙センターの広域・地域活性化の調査・立案。角田宇宙センターの広域・地域活性化の調査・立案。
J-11	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	Auto Science・AIによる画像認識とVRを活用した自動運転技術の研究	1	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	なし	10日間	7月2日	9月20日	Auto Science・AIによる画像認識とVRを活用した自動運転技術の研究を行う。
J-12	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	リニア安全評価における破壊シミュレーションに関する研究	1	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	なし	10日間	7月2日	9月20日	リニア安全評価における破壊シミュレーションに関する研究を行う。
J-13	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	宇宙機の破壊やシミュレーションに向けた反力モデルに関する研究	1	大学院	工学部	修士1年以上	Fortran、Excel、CADの経験	10日間	7月2日	9月20日	宇宙機の破壊やシミュレーションに向けた反力モデルに関する研究を行う。
J-14	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	液体推進システムに関する研究	1	大学院	工学部	修士1年以上	Fortran、Excel、CADの経験	10日間	9月20日	9月20日	液体推進システムに関する研究を行う。
J-15	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	Deep Learningを用いた画像認識に関する研究	1	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	Deep Learningの知識が必要	9日間	7月9日	7月20日	人工知能で取得した画像からDeep Learningを用いた画像認識に関する研究を行う。
J-16	研究開発部門 第三研究ユニット	相模原/水	宇宙の宇宙活動に関する法的検討のための調査	1	大学・大学院	指定なし	大学4年以上	なし	5日間	7月~8月	7月~8月	宇宙の宇宙活動に関する法的検討のための調査を行う。

$$\frac{5}{7} \times \frac{3}{5} = \frac{3}{7}$$